

小豆支部メディア教育研究部会活動報告

研究主題

「教職員のICT活用能力の向上をめざして」

1 はじめに

情報通信技術（ICT）が教育現場に入ってきてから随分長い時間が過ぎたように思えるが、教員のICT活用の現状はどうであろうか。教材研究、教材作成、授業、校務など、教員の担う業務の全般にICTを活用し、教育効果を上げるためには、各校のメディア教育担当の担う役割は大きい。小豆支部では、各校教職員のICT活用能力を向上させるために、各校の実情を今一度見直し、改善するためにメディア教育担当として何をしなければいけないのかを探っていくこととした。

2 研究の概要

- (1) 第1回部会（5月2日 土庄中学校）
研究組織・研究テーマ・研究計画の策定
- (2) 第2回部会（9月13日 池田中学校）
各校のICT活用状況の問題点の把握
今後の研修計画の見直し
- (3) 第3回部会（11月 池田中学校）予定
実技研修（Vista、Wing-Net）
池田中学校校務用グループウェア検証

3 各校の取り組み

(1) 土庄中学校

現 状

コンピュータ室や職員室には、ほぼ十分な台数があるが、普通教室や理科室等の特別教室には設置されていない。新校舎の建築が始まり、ICT環境については過渡期にある。

校内研修

新校舎ができるまで、現状のPCシステムで運用することになるが、校内研修を充実させ、効果的に授業や校務が行えるようにしていかなければならない。

今後の課題

情報セキュリティを含め、教職員のICT活用能力を向上させていくことは大きな課題である。

(2) 豊島中学校

現 状

ア 生徒用の無線LAN

生徒用の校内LANは、充実しており、校内のあらゆる教室からインターネット、生徒用サーバーへノートパソコンから無線LANで接続できる。総合的な学習の時間などで大いに活用できている

イ 職員室のLAN

職員室は、11名全員がノートパソコンを使用しており、有線のLANでインターネット、相互の共有データへアクセスできる。

ウ 授業での使用状況

総合的な学習の時間では、多くの情報を得ることができ、うまく使えている。

校内研修

校内で校務に使っている共用のPCや個人のノートPCのセキュリティ管理など、情報管理への危機管理意識を充実させる研修を行っている。

今後の課題

- ・メディア教育担当のICTの活用能力

の向上が必要であり、そのための研修を意識して実施しないと学校全体が前に進んでいかない。

- ・現職教育での研修を行う必要がある。特にセキュリティーに対する意識をより高める必要がある。
- ・ホームページを多くの教員が更新できるような環境を作る。

(3) 池田中学校

現 状

2学期から、コンピュータ室の PC システムが入れ替わり新しくなった。同時に職員室の LAN 環境についても見直し、グループウェアを導入し、運用を始めた。

校内研修

1学期に、PC、記録メディアへのパスワードの設定や個人 PC の校務での使用について研修を行い、実際にパスワードを設定して運用してきた。8月末に職員室の PC 環境を整え、基本的には個人 PC を校務に使用しないようにした。新しいコンピュータ室、校務用グループウェアを使いこなすことができるように今後研修を充実させなければならない。

今後の課題

2学期後半には、総合的な学習の時間のまとめとしてコンピュータを使ってプレゼン用の資料を作ったり、学習のまとめ冊子を作ったりする。すべての教員でその支援をするために生徒用 PC の基本的な使い方について知っておく必要がある。校内研修、個人研修を充実させ、生徒の学ぶ意欲を支えることができるようにしなければならない。

(4) 内海中学校

現 状

英語の授業で、WEBカメラを使い、離れたところにいるALTと交流をする授業を行った。

英語で話している顔（画像）と話している声（音声）を、インターネット回線を使って、相互にやりとりをすることで、話す力や聞く力、コミュニケーション能力を高める取り組みになると考えている。

問題点

- ・国によっては、時差の関係でリアルタイムので交流ができない。
- ・インターネット環境によって、画像の送受信に時間差が生じたり、ぎこちない動きの画像が表示されたりする。

今後の課題

一部の教科だけではなく、多くの教科でICTを活用していくためには、職員研修は欠かせない。まとまった時間がとれない現状では、コーディネーターとしての情報担当の役割は大きい。

4 おわりに

内海中学校、土庄中学校の校舎建築工事が進んでいる現在、小豆の4中学校のICT環境が大きく変わろうとしている。池田中学校も2学期以降、コンピュータ室に Vista 搭載の生徒用コンピュータが導入され、授業で使われている。このような環境の変化の中で、すべての教員がコンピュータを使って授業ができるようにするためには、何が必要なのかを考えてきた。

本年度、新しく導入された池田中学校の校務用グループウェアの使い方を検証したり、新しいコンピュータ室を使って実技研修をしたりすることで、郡内各校のICT活用指導力の向上を図っていきたい。また、新しく校舎を建築している2校については、どのような形で校内のネットワーク環境が構築されているのか、各教室のメディア環境はどのようになっているのかなどを共有することで郡内各校のICT環境の構築に生かされるようにしていきたい。